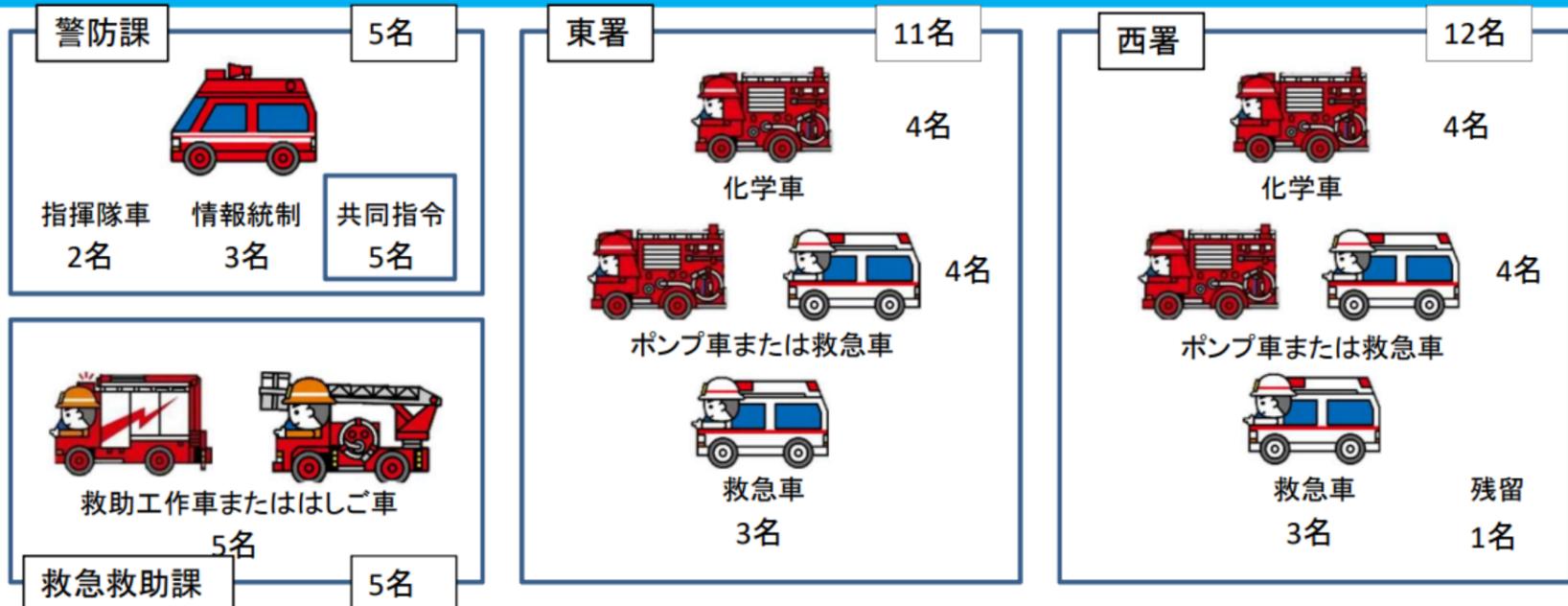


現状の出動体制



警防5名+東11名+西12名+救助5名=33名

33×3交替=99名 99名+共同指令5名=104名 日勤者 31名 総員135名

1 消防業務の複雑多様化、救急需要の激増

火災予防違反是正の厳格化、訴訟事例への対応

救急件数 平成7年 2,364件 → 令和5年 4,311件

2 労働環境の変化

育児休暇の取得推進、女性職員の活躍推進

3 消防力の整備指針

充足率64.5% 兼務や乗替運用による職員の負担

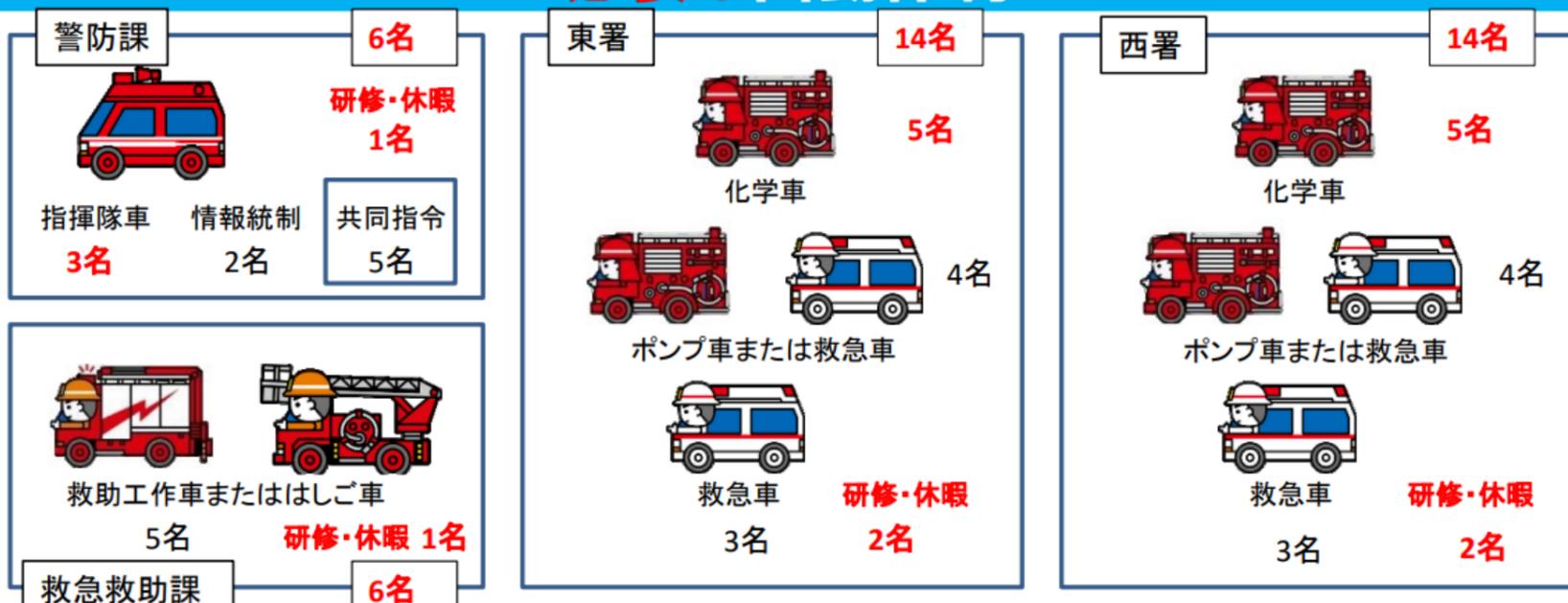
消防力の整備指針 資料

市街地人口や建物の数などを基準に車両台数を算出
 ↓
 車1台に対し、その必要人数が決定
 その他予防要員、通信員、総務要員を算出

(R4調査)
 算定数 206人 現員数 133人 充足率 64.5%

充足率全国平均 79.5% 206×79.5%=164人

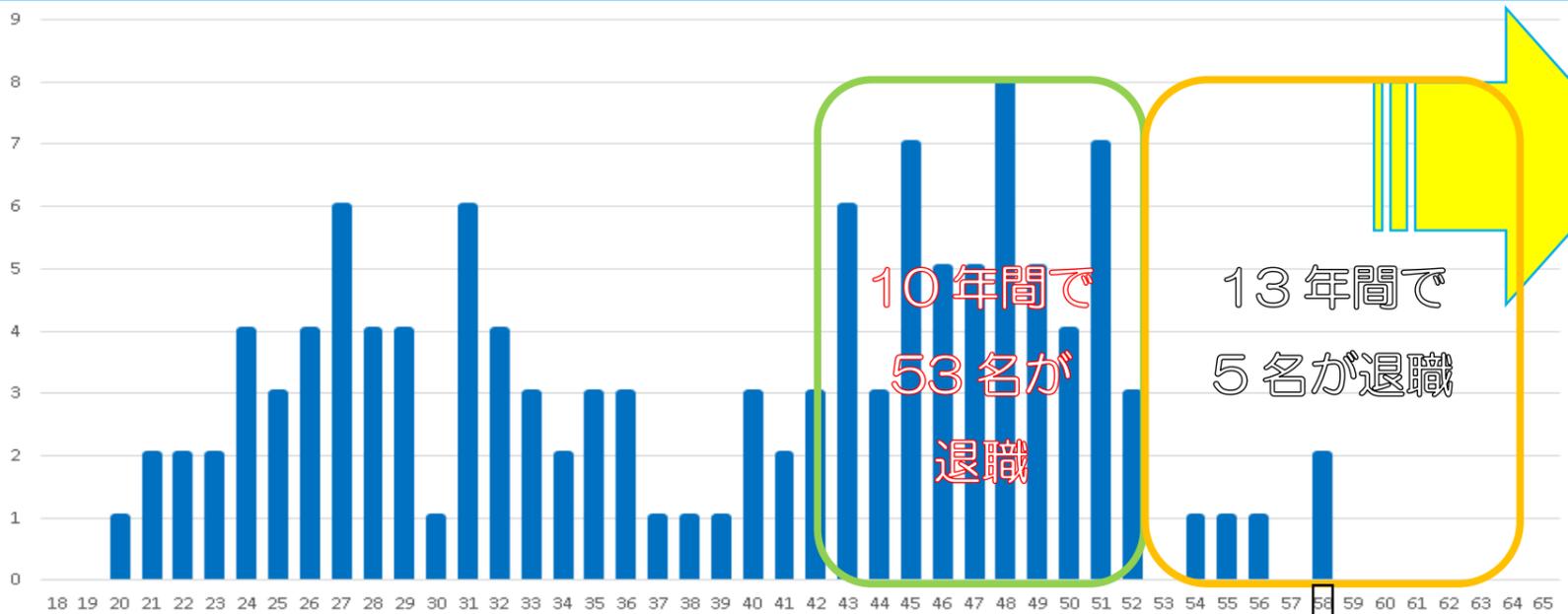
必要な出動体制



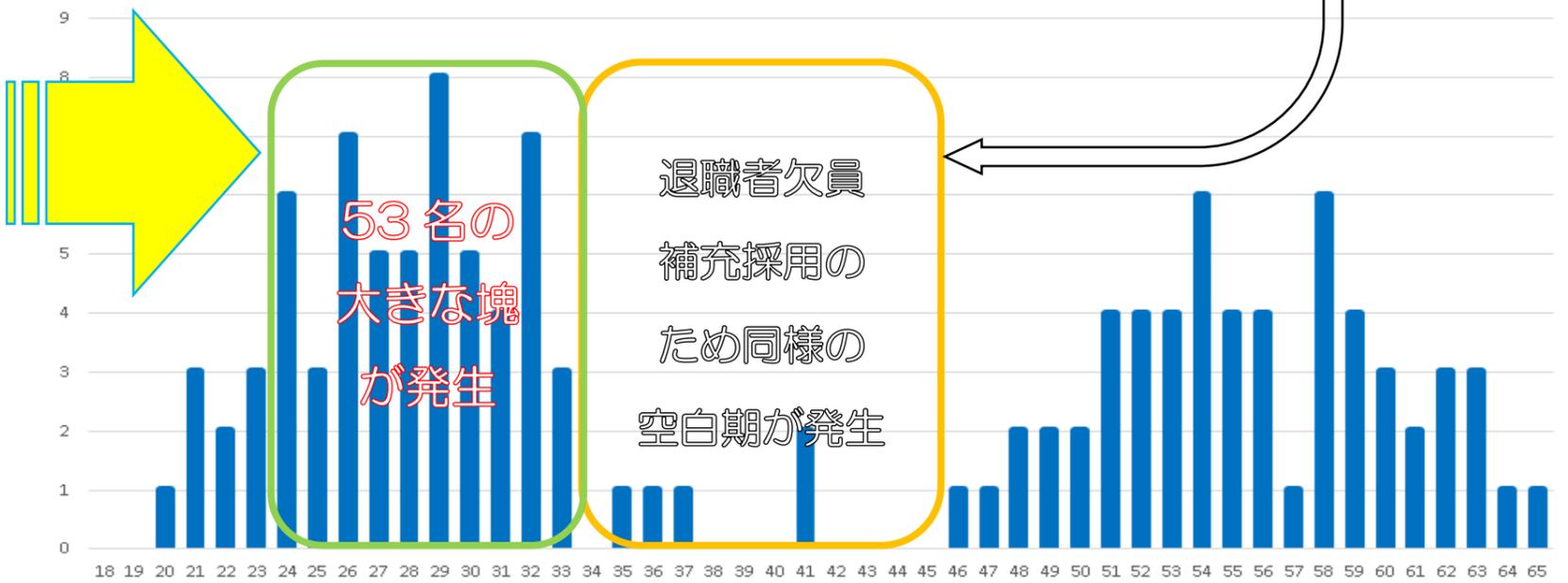
警防6名+東14名+西14名+救助6名=40名

40×3交替=120名 120名+共同指令5名=125名 日勤者 35名 総員160名

令和5年度 消防職員年齢分布



令和32年度 消防職員年齢分布



職員年齢構成の偏り

定年延長制度の開始、年齢層ごとの職員数の偏在、総務省通知

年齢構成の平準化

R32 職員年齢分布

